

水のさと通信

Vol.2

編集・発行
国土交通省 四国地方整備局
吉野川ダム統合管理事務所 柳瀬ダム管理支所

今号の表紙: ダム入口横のカエデ
柳瀬ダム入口横にはカエデの木があり、
毎年秋になると
鮮やかな紅葉を見せてくれます。

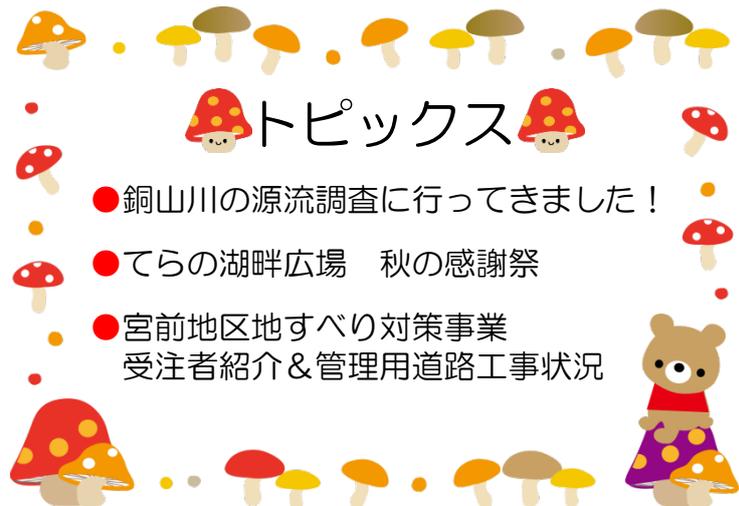
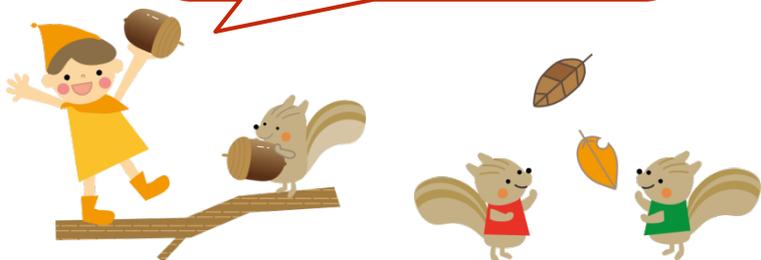


★発行によせて★

「水のさと通信」もおかげさまで第2号を発行することができました！
あまり専門的な言葉を使わず、
皆様にとって親しみやすい内容となるよう心がけました。
楽しんでいただければ幸いです。

トピックス

- 銅山川の源流調査に行ってきました！
- てらの湖畔広場 秋の感謝祭
- 宮前地区地すべり対策事業
受注者紹介&管理用道路工事状況



銅山川の源流調査に行ってきました！

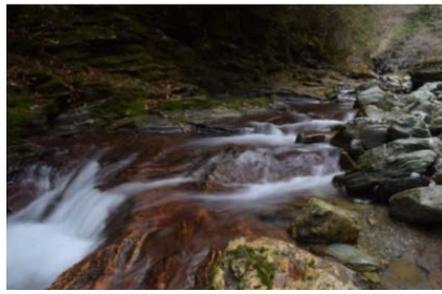
銅山川の源流には、水の恩恵に感謝し、未来永劫に恩恵がもたらされるように祈念した源流碑が設置されています。その源流碑及び源流自体が今年度の度重なる洪水の被害を受けていないか確かめるべく、愛媛県新居浜市・冠山にある銅山川源流へ調査に行ってきました！

AM 10:00

フォレスターハウスから調査開始です。



源流までは、こんなルートで登っていきます♪
※本ルートは平成27年11月12日より通行止めとなっております。



フォレスターハウスの散策道から見た銅山川です。



急斜面にかかる橋です。登山道には危険な箇所が多数あり注意が必要です！！



ここで、ちょっと秋の風景です。落ち葉の絨毯は柔らかく歩き心地は抜群です！ただし、滑るので転倒注意です。



変わった形の木がありました！おとぎの国にきたような光景です♪



PM 12:30

ついに源流到着！



源流、源流碑ともに異常なし♪

よかったね☆



調査を終えて

源流・源流碑に異常がなく一安心です。源流碑の環が連なったような形は、「源流の水が流域に恩恵を与えながらやがて海にたどり着き、そして空に上がり、雨となりこの地に帰ってくる」といった自然環境をテーマにしています。源流を実際に訪れ、このわずかな水の流れが後に銅山川、そして吉野川となっていく事を考えると、水の尊さを改めて感じられました。

てらの湖畔広場 秋の感謝祭



11月1日、法皇湖に面したてらの湖畔広場で「**てらの湖畔広場 秋の感謝祭**」が開催されました。同日は「**別子・翠波はな街道サイクリング**」も併催され、約600人の参加者で盛り上がりました。



開催の挨拶です。



嶺南地域の団体によるバザー等が開催され、皆様に楽しんで頂けました。



地元のおいしい野菜です♪
安心して下さい！新鮮ですよ！！



「**別子・翠波はな街道サイクリング**」は法皇湖一周ファミリーコースと別子・翠波はな街道ロングコースの2つのコースで開催され、総勢358人の参加者で賑わいました。



てらの湖畔広場はココです♪



流木・伐採木を配布しています！

柳瀬ダムでは、毎年出水のたびに金沙湖に流れ着いた流木を金沙湖畔公園にて無料で配布しています。今年度からは新たに宮前地区の地すべり対策事業の一環である宮前地区管理用道路工事に着手いたしましたので、そちらで伐採した雑木も合わせて配布を行うこととなりました。お名前と用途を下記連絡先までお伝え頂ければ、ご自由にお持ち帰りいただくことができます。薪や材木などにご活用ください。

配布場所
(金沙湖畔公園内)

連絡先

吉野川ダム統合管理事務所
柳瀬ダム管理支所
住所：愛媛県四国中央市金沙町小川山乙1623-1
TEL：0896-29-0011



配布流木・伐採木の一例

- ・転売目的でのお持ち帰りはご遠慮ください。
- ・予約・取り置きや配布後の返却には応じかねます。
- ・配布流木・伐採木の種類、大きさ、品質等は不揃いです。

平成27-28年度 宮前地区管理用道路工事 担当

井原工業株式会社 安藤 豊彦 さん

平成28年5月31日まで、地すべり対策事業において必要となる工事用道路の設置を行います。

日頃より嶺南地区の皆様にはお世話になっております。
 今回の工事は地すべり対策事業「宮前地区管理用道路工事」の二期工事となります。
 道路利用者の方々には何かと御不便をお掛けいたしますが、安全第一で工事を進めてまいります。
 工事期間中はご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



お問い合わせはこちら→

住所：〒799-0404 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目2番18号 Tel：0896-24-4435

平成27年度 宮前地区管理用道路工事に突撃取材してきました！

皆様に、現在施工中の工事の内容、状況をお伝えするべく、
 工事現場に出向き取材をしてきました。是非ご一読ください♪

↓みどりん(柳瀬ダム職員)、亀ちゃん(工事受注者(創刊号で紹介しています。))

みどりん：この工事の概要を教えてください。

亀ちゃん：この工事は、地すべりを防ぐための排土工事に先駆け、**排土をするために現場に入る道路を作る**ものです。まず、準備工といって、主に樹木の伐採を行い道路を作るための下地を作ります。その後、斜面を削ったり、盛ったりして道路の形を整えた上で、斜面が崩れないようにモルタル、植生の吹き付けを行い道路を作っていきます。その他に、沢水や雨水を流すための排水路、濁水対策として**沈砂池**を作ります。

みどりん：沈砂池って何ですか？

亀ちゃん：現場には沢があって水が流れているのですが、工事を進めていくうちに土砂が流れ込み、水が汚れてしまいます。そこで、汚れた水をダムへ流さないために堰を作り、土砂を沈殿させて上澄みのきれいな水だけを流すようにするものです。

みどりん：なるほど。環境にも配慮しているんですね！

亀ちゃん：そうですね。公共事業というあまりイメージが良くないかもしれませんができる限り**環境**配慮はしています。例えば、先ほど述べた植生の吹き付けも、土を削ったり盛ったりした場所は植生が失われ裸地となってしまうので、植物の種子を肥料とともに吹き付けて、植生の回復を図るといふものです。

みどりん：今は、何をしているところですか？

亀ちゃん：今は、準備工で木の伐採をしています。

みどりん：何か、工事を行ううえで大変な事などはありますか？

亀ちゃん：道が狭いので工事の機械の搬入、また人手不足のため木を切る職人さんの確保が大変です。

みどりん：少子高齢化、過疎化などもあり、人材の確保は大変ですね。

最後に読者の方にメッセージはありますか？

亀ちゃん：工事で出た土の搬出の際は安全に通行しますので、よろしくお願いいたします。

みどりん：それでは、取材に協力して頂きありがとうございました。



取材を終えてひとこと☆



普段は座り仕事ばかりなので、今回は自分の職場がかかわっている工事の現場をじっくり見せていただけるよい機会となりました。環境への配慮についてのお話が特に興味深かったです。工事にはどうしても自然の破壊がつきものだからこそ、少しでも自然と共存していこうというスタンスで工事が進められていることがわかり、私たち人間はいろんなものの命をいただいて生きているんだな、ということを改めて実感させられたひとときでした。

お問い合わせ・ご意見はこちらまで！

国土交通省 四国地方整備局
 吉野川ダム統合管理事務所
 柳瀬ダム管理支所

住所：〒799-0641
 四国中央市金砂町小川山乙1623-1

Tel：0896-29-0011
 Fax：0896-29-0013
 HP：http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/



編集後記

秋も深まり、すっかり日が短くなりました。柳瀬ダムは山の中にあるので、この時期帰りはいつも真っ暗。何か出るんじゃないか…といつもドキドキです。でも、そこを通り過ぎれば、一面に広がる四国中央市街の夜景を楽しむことができます。この夜景は「夜景100選」にも選ばれていて、市のちょっとした名物にもなっています。柳瀬ダムまでの道中に展望台があるので、機会があればぜひご覧においでください！

by みどりん♪

